

法学部



1. 人の役に立ち、社会に役立つ人材育成が目標
2. 1年から4年まで必修の少人数ゼミ重視
3. 論理的思考と現場体験を重視する教育

2015(平成27)年度

I 法学部の教育方針

法学部では、建学の精神に則り、「人の役に立ち、社会に役立つ人材」を育成しています。この目標に向かって「自助と共助の精神を実践できる知識と技術を身につける」ための教育を行います。具体的には、1年次から4年次まで少人数のゼミを必修とし、教員が1人1人と向きあってきめ細かく指導しており、仲間同士が助け合い切磋琢磨しながら学ぶという姿勢を身につけるよう支援しています。ゼミ重視の方針は、両学科とも3年生になると必ず出かける研修旅行にも現れています。教員や仲間と寝食をともにして議論に熱中し親交を深めるゼミ旅行は、一生の思い出になるばかりでなく、4年次の卒業論文作成（両学科とも必修）に向けての重要な足がかりともなります。ゼミによっては、最高裁判所や家庭裁判所の見学、東京地方裁判所での裁判傍聴、刑務所や少年院見学、防衛省見学ツアーなど、教室を飛び出して「法律が生きている現場」に身を置く体験もでき、他大学とのゼミ交流が経験できるゼミもあります。また、講義では理由を考えながら納得して理解することを重視し、論理性を重んじる法律を学ぶことによって論理的思考力を鍛えます。さらに講義で得た知識をゼミで実践するというプロセスを大切にしている学部、それが法学部なのです。

II 法学部の求める学生像

当法学部には、警察官や消防官志望の学生が非常に多く見られます。おそらく「人の役に立ち、社会に役立つ人材」を育成するという、わたしたち法学部の教育理念に共感して集まってきているからでしょう。ボランティア活動にも関心を持つ学生が多く存在しています。人の役に立ちたい、社会の役に立ちたいと願う学生こそが、法学部の求める学生像です。それには、まず、自らの意思を相手にきちんと伝え、相手の意思をも受け止めることができるコミュニケーション能力が必要です。話し言葉のみならず、書き言葉でも意思の疎通をはかれなければなりません。的確に言葉で表現し、文章表現もでき、なおかつそれが論理的な説得力をもつことが理想的です。論理性を重んじる法律学の勉強を通してこれらの能力を高めていくことが法学部の教育ですが、このような教育を受けるのに必要な最低限のコミュニケーション能力を有している学生を求めています。

III 法学部の特長

(1) 2学科制



法律学科は今年で創設 49 年の歴史をもち、憲法・民法・刑法等の基本法を中心に法律を学びます。従来から一般的に法学部で伝統的に設置されているスタイルの学科で、法律学科の延長線上に大学院の法学研究科が設けられています。



現代ビジネス法学科は、今年で創設 14 年目になる若い学科です。企業法務関係で活躍する人材を育てることを目的として 2001 年に創設されました。ビジネスの現場で必要とされる国際関係法や知的財産法等のビジネス関連法を中心に学びます。現代ビジネス法学科の延長線上には、大学院の総合知的財産法研究科が置かれているので、現代ビジネス法学科では知的財産法関連の科目がたくさん設置されています。

(2) ゼミ重視



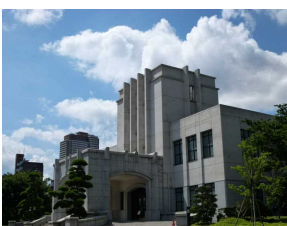
1～4 年まで必ずどこかのゼミに所属して、4 年次の卒論で自分が研究をしたいテーマを固めていきます。たとえば、犯罪学のゼミでは、昨年、大阪刑務所の見学をしました。ゼミは少人数で教員が丁寧に指導をします。このように学外へ見学に出かけるゼミも少なくありません。他大学とのゼミ交流を行っているゼミもあります。

(3) 現場体験重視



法学部は、さまざまな現場体験から学び取る姿勢を大切にしています。たとえば、訴訟法のゼミでは最高裁判所見学や東京地方裁判所（左の写真）で裁判の傍聴をしています。家族法のゼミでは家庭裁判所見学を行い、家裁調査官に質問するため自ら調べることにより、家族をめぐる紛争に司法がどのように関わっているかを考えます。

(4) 研究所の研究と連動した講義



法学部には比較法制研究所と最先端技術関連法研究所が研究機関として設置されています。比較法制研究所のプロジェクトに連動して「国際刑事司法と紛争処理」という講座が設けられており、毎年防衛省（左の写真）の見学に出かけています。

(5) 法学・知財研修室



法学・知財研修室は、資格試験等を目指す学生が自主的に勉強する場です。専門書やパソコンなどが備えられた部屋で、学生たちは学科・学年を超えて交流することができ、各自の目標に向かって勉強をしています。その中からロースクールに進学する学生も増えてきました。



(6) 法研指導の開講



法学部では、検定試験・資格試験・公務員試験など、各種試験を受験しようとする学生に対して、独自に「法研指導」という科目を開講しています。法研指導を受講している学生の中から、法学検定試験やビジネス実務法務検定試験に多くの合格者を輩出しています。

(7) 模擬裁判・法律討論会



法学部では、毎年交互に模擬裁判と法律討論会を開催しています。模擬裁判では半年以上かけて準備をします。事実の概要を寸劇にして学生が演じ、法廷の場面では学生が執筆した判決文を裁判官役の学生が言い渡します（左上の写真）。法律討論会では、学生が主体となって法律に関するテーマを巡り学生同士がディベートをします（左下の写真）。



(8) 3つの検定試験の推奨



法学部では、法学検定試験、ビジネス実務法務検定試験、知的財産管理技能検定試験の受験を推奨しています。法学検定試験のスタンダード<中級>コース、ビジネス実務法務検定試験の3級と2級、知的財産管理技能検定試験の3級と2級に合格すると単位が認定されるので、勉学の励みになります。検定試験に合格したら、次に行政書士試験や司法書士試験、宅地建物取引士試験に挑戦していくという学生も少なくありません。まず、検定試験のための勉強をして基礎学力を身につけ、合格後資格試験に挑戦するという段階を経た学習方法を、法学部では推奨しています。

(9) 情報教育の充実



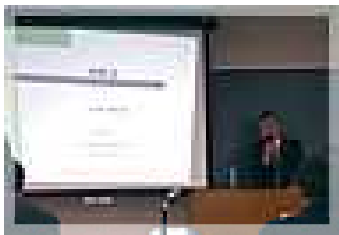
法学部現代ビジネス法学科では、1年次に「法情報学」を必修として、情報教育に力を入れています。法学部では、ゼミでの報告準備をしたり卒論を執筆するために必要な判例や文献を検索できるスキルを身につける教育を行っています。

(10) 実務経験豊富なバラエティに富む教授陣



法学部では、実務に即した勉強をする環境を提供するために、検察官・弁護士・弁理士など、さまざまな実務関係者が教授陣に加わっています（左の写真は、飯田昭夫教授〔弁理士〕）。

(11) 大学院と直結した学科



法律学科の上には法学研究科が、現代ビジネス法学科の上には総合知的財産法学研究科が設置されています。法学研究科では多くの税理士が誕生しており、博士課程修了者の中には大学で教鞭を執る者も増えてきました。総合知的財産法学研究科でも、毎年弁理士が誕生しています。法学部は、さらに勉強を続けたいと考える学生に対しても、研究を深める進学の道を用意しています。

(12) ボランティアの推奨と単位認定



法学部では、体育学部スポーツ医科学科の協力を得て、毎年4月に新入生対象の防災教育を実施しています。震災が起きたときに本学部の学生たちが率先して行動を起こせるよう自助と共助の姿勢を身につけさせるとともに、AED講習会も実施しています。また、法学部では学生のボランティア活動を推奨し、単位を認定する制度も設けています。

IV 法学部の四季

(1) 春



入学式(2015.4.1)

みなとみらいのパシフィコ横浜国立大ホールにて行いました。7学部と大学院の入学式を午前と午後に分けて実施し、法学部の入学式は午後の部でした。



法学部卒業生による資格等ガイダンス(2015.4.4)



今年で7年目になる資格等ガイダンスは、弁護士・弁理士・公務員・警察官・司法書士・行政書士・社会保険労務士になった卒業生が講師となり、自らの体験を語りつつ仕事の内容や試験勉強の取り組み方について話してくれます。今年は15人の卒業生が講師として参加してくれました。

新入生歓迎行事・オリエンテーリング(2015.4.25)

プレゼミ(法律学科)・入門ゼミ(現ビ学科)ごとに別れ、学内外の5つのチェックポイントを回りました。チェックポイントではゼミの集合写真を撮り、学部長賞を競います。皆でチェックポイントを目指して歩き回るうちに、すっかり仲良くなりました。企画立案は上級生が行い、各ゼミには上級生も1人ずつ付き添いましたので、上級生との交流の場にもなりました。



(2) 夏

法研合宿と知財合宿(2014.9.6-8)

法学部では40年以上にわたり、法学研修室での合宿を実施してきました。合宿では専任教員が講師となって憲法・民法・刑法・行政法のゼミを実施するとともに、上級生には公務員受験コースやロースクール受験コースを設定し、公務員や裁判官・弁護士の卒業生がアドバイザーとして参加してくれます(右上の写真が法研合宿)。

知財合宿は、総合知的財産法学研究科の大学院生と合同で実施されています(右下の写真が知財合宿)。



(3) 秋

なんでも相談会(2014.11.3)



例年、楓門祭(11月2日・3日)の時期に、卒業生が20人以上来校して、なんでも相談会が実施されます。今年の秋で第16回目となります。法曹(裁判官・検察官・弁護士)・弁理士

・司法書士・行政書士・国家公務員・地方公務員・警察官・刑務官・教職・企業などのブースに分かれ、在校生が自由にブースを回って卒業生から話を聞くことができるという企画です。

(4) 冬

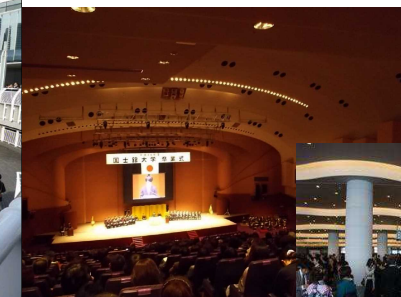
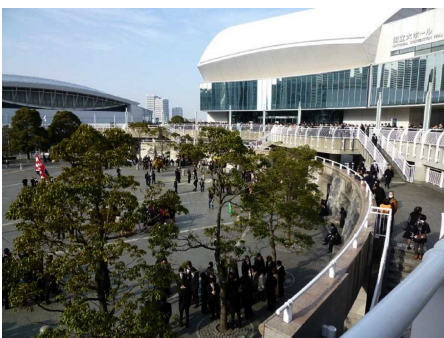


模擬裁判・法律討論会(12月)

毎年冬は、模擬裁判と法律討論会の季節です。今年は模擬裁判の年です。法学部には、裁判員裁判にも対応できる模擬法廷教室があります。

卒業式(2015.3.20)

パシフィコ横浜国立大ホールにて挙行されました。



V 法学部を巣立って(平成26年度卒業生の主な進路)

法律学科		現代ビジネス法学科	
進学	国士館大学大学院(知財研)・横浜国立大学大学院・学習院大学法科大学院・立命館大学法科大学院	進学	国士館大学大学院(知財研・法研)・青山学院大学大学院・東海大学大学院・ニューカッスル大学・サンフランシスコ州立大学院
公務員	横浜市役所・板戸市役所・柏市役所・警視庁・千葉県警・埼玉県警・神奈川県警・静岡県警・石川県警・岩手県警・秋田県警・福島県警・東京消防庁・越谷市消防本部	公務員	戸田市役所・調布市役所・警視庁・神奈川県警・埼玉県警・千葉県警・静岡県警・茨城県警・川口市消防局
教員	埼玉県公立小学校	教員	千葉県公立中学校・高等学校
企業	日本郵便・明治安田生命保険・城南信用金庫・三井住友銀行・武蔵野銀行・日野自動車・リコージャパン	企業	日本郵便・みずほ銀行・武蔵野銀行・東日本銀行・横浜信用金庫・明治安田生命保険・東京地下鉄・三越伊勢丹・住友林業・ヤナセ・東北新社



国士館大学法学部

〒 154-8515

東京都世田谷区世田谷 4-28-1

TEL. 03-5481-3311

<http://www.kokushikan.ac.jp>